

原子力リスク研究センター (NRRC) 第 25 回 技術会議 議事録

1. 日 時：2019 年 4 月 25 日 (木) 15 : 00~17 : 00
2. 場 所：電力中央研究所大手町本部 役員大会議室
3. 出席者 (順不同、敬称略)
 - 主査： 横尾 (NRRC)
 - 委員： 笹田 (勝海代理：北海道電力)、遠藤 (金澤代理：東北電力)、
谷・山本 (東京電力 HD)、中川・浜田 (中部電力)、
上野 (北陸電力)、鈴木・谷川 (吉原代理：関西電力)、
吉谷 (林代理：中国電力)、中川 (黒川代理：四国電力)、
米丸 (九州電力)、石坂 (日本原電)、大柿 (日本原燃)、
石黒 (石倉代理：電源開発)、河村 (薄井代理：東芝)、
野上 (今野代理：日立 GE)、山岸 (三菱重工)、渥美 (電事連)、
多田 (電工会)、倉田 (原安進)、
高橋・岡本・白井・梅木・稲田・山本・山中・朝岡 (NRRC)

4. 議事概要

(1) 2018 年度研究成果について

- NRRC より、「2018 年度 研究成果」について報告がなされた。
(主なコメント ◆外部委員、◇電中研委員)
- ◆米国では「41 プラントの相対リスクでは火災ハザードが支配的：50%以上」と記載されているが、火災が支配的になる要因は、主にどういうところか。
- ◇地震や外部溢水といったハザードが低いということもあって、火災のハザードの方が突出している。その要因としては、電気盤火災による要因が一番大きいとされている。
- ◆耐震性能照査のマニュアルは、性能の審査では使っていけると理解すればいいのか。
- ◇本マニュアルは、土木学会の委員会にて専門有識者による審議で認められたものであるので、事業者が説明できれば、規制庁にも認めてもらい易くなっているものとは考えている。

(2) NRRC の活動状況について

- NRRC より、「津波 PRA プロジェクトへの HRA の活用」、「原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査の高度化・標準化」「RIDM プロセスの導入に向けたアクションプラン (フェーズ 2) の検討状況 & リスク情報活

用演習の概要」について報告がなされた。

以上